

エコアクション21

【環境活動レポート】

(活動期間：2016年5月～2017年4月)

福山エビス印刷株式会社

発行日：2017年6月1日

対象期間：2016年5月～2017年4月

認証番号：0006547

認証登録日：2011年 1月28日

更新登録日：2017年 1月28日

有効期限：2019年 1月27日

■目次

1. 事業活動の概要	1
2. 実施体制（環境経営システム組織図）	2
3. 経営理念・社是・環境方針 （基本理念・基本方針）	3
4. 環境目標と実績	4
5. 生産量比グラフ （二酸化炭素係数・電気・ガス・水道）	5
6. 主要な環境活動・取組内容	6～11
（1）二酸化炭素排出量の削減	
（2）廃棄物排出量の削減	
（3）節水対応	
（4）化学物質での運用管理	
（5）グリーン購入・リサイクルの推進	
（6）環境関連法規の順守	
（7）環境教育の推進	
（8）外部研修	
6. 評価	12・13
7. 今後の目標（次年度の取り組み内容）	14
8. 環境関連法規規制遵守状況	15
9. 代表者による全体の評価と見直し結果	16

1. 事業活動の概要

■事業所名及び代表者名

福山エビス印刷株式会社

代表取締役 社長 小田芳正

■所在地

- ・ 本 社 : 〒720-0821 広島県福山市東川口町1丁目5番5号
TEL : 084-954-2200 / FAX : 084-954-2643
- ・ オフ輪工場 : 〒720-0821 広島県福山市東川口町1丁目4番12号
TEL : 084-920-2120 / FAX : 084-920-2118
- ・ 大阪営業所 : 〒532-0002 大阪府大阪市淀川区東三国4-4-15-601
TEL : 06-6152-9480 / FAX : 06-6152-9481

■管理責任者及び連絡先

- ・ 環境管理責任者 : 浜田耕作
- ・ 連絡・受付担当者 : 立石法子
- ・ 連絡先:TEL. 084-954-2200 / FAX. 084-954-2643

■事業内容及び認証登録範囲

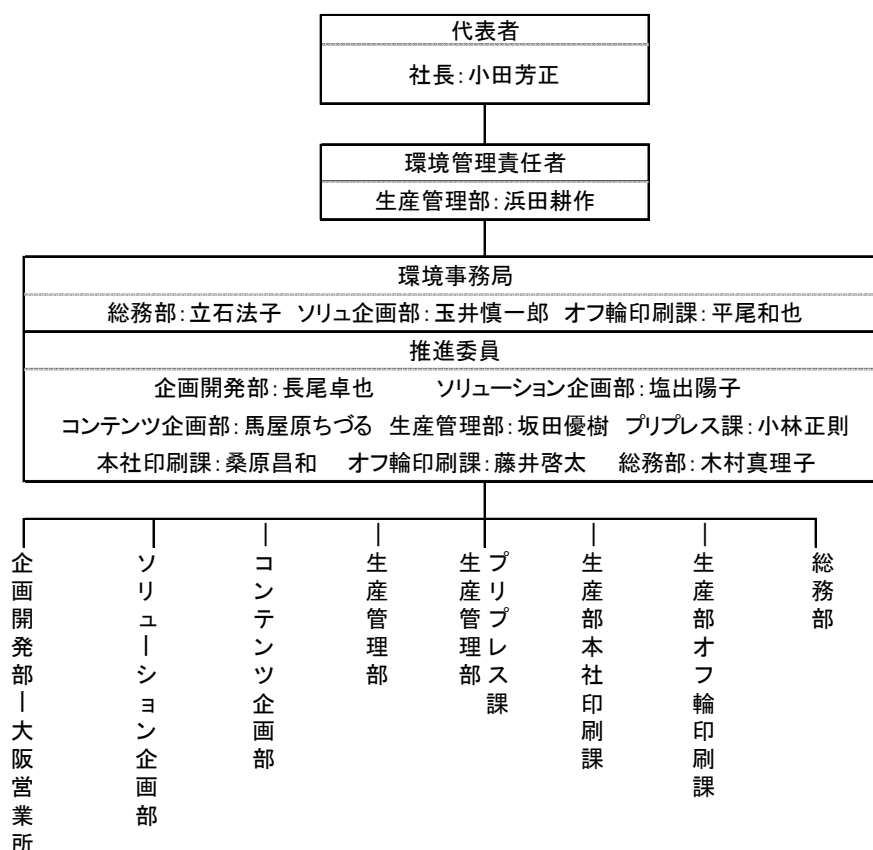
- ・ 対象事業所 : 本社・オフ輪工場・大阪営業所
- ・ 事業活動 : オフセット印刷の営業・企画・デザイン・製版・印刷・加工
包装及び出荷業務

■事業規模

- ・ 資本金 : 1, 0 0 0 万円
- ・ 売上高 : 7 9 2 百万円 (印刷物売上高)
- ・ 従業員数 : 4 4 人
- ・ 延床面積 : 本 社 1, 6 0 4 m²
オフ輪工場 3, 0 5 4 m²

2. 実施体制

福山エビス印刷株式会社 環境経営システム組織図



	役割・責任・権限
代表者(社長)	環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な、人、設備、費用、時間、技能、技術者を用意 環境管理責任者を任命 環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境目標・活動計画書を承認 代表者による全体の評価と見直しを実施 環境活動レポートの承認
環境管理責任者	環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境目標・活動計画書を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境活動レポートの承認確認
環境事務局	環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 「環境関連法規等取りまとめ表」の作成 「環境関連法規等取りまとめ表」に基づく順守評価の実施 環境目標・環境活動計画書原案の作成 環境活動の実施集計 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境活動レポートの作成、公開(事務所に備え付けと地域事務局への送付)
推進委員	自部門における環境経営システムの実施 自部門における環境方針に周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 特定された項目の手順書作成及び運営管理 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練・記録 自部門の問題点の発見、是正、予防処置
全従業員	環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

3. 環境方針

福山エビス印刷株式会社

〈 経 営 理 念 〉

私たちは、常に優れた感性を磨き、感動を呼び、感謝される
印刷文化の向上を目指します。それによって
お客様と会社の繁栄、社員の幸福をもたらし
企業永遠の発展を図って、社会への責務を果たします。

〈 社 是 〉

創造・実行・信頼

環 境 方 針 (エコアクション21)

◆ 基 本 理 念 ◆

福山エビス印刷株式会社は、地球環境に対する影響を最小限に抑える為、
環境汚染・健康と安全の維持を重要課題とし、これを継続的に取り組み次
世代に住み良い地球と豊かな社会を残すことを目指します。

◆ 基 本 方 針 ◆

1. 環境への配慮した経営活動を推進することにより、作品・サービスへの社会的価値とグリーン購入により一層の社会的貢献に取り組みます。
営業活動を通じて弊社もお客様へのエコを推進します。
リサイクル対応型印刷物の制作の推進、分別廃棄の推進。
2. 生産活動において「棄てるものを少なくする」ことを原点にした行動について規定し、永続的な運用のため継続的な改善を行い、資源及びエネルギーの削減・効率利用に努め、汚染の予防に取り組みます。
3. 環境負荷を軽減するために、次の活動を進めます。
 - ・二酸化炭素排出量の削減に努めます。
 - ・廃棄物排出量を削減し、分別することにより、リサイクルの推進
「棄てる物を少なくします」
 - ・水資源の節約に努めます。
 - ・化学物質の取扱はSDSに従いより安全な使用と廃棄に努めていきます。
4. 環境に関わる法規制を順守し、お客様の要求事項を明確にし、管理を行います。
5. 基本理念に基づいたエコアクション21マネジメントシステムを確立し、そのサイクルをまわすことにより継続的改善を図ります。
6. この環境方針は全ての社員、従業員に周知徹底し、社員教育を実施します。また良いと気付いた時は即始め、悪いと気付いた時は即止めます。必要に応じて見直しを行い、環境保全型企業を目指します。
7. 環境への取り組みを環境活動レポートとしてとりまとめ公表します。

○社会的信頼と業績をアップ！あらたな視点が会社・社員の危機を救います。

2010年 7月1日 制定

代表取締役社長

小田芳正

4. 環境目標と実績

【売上比に対する使用量比率の比較評価】

取組区分	単位	4 8 期	4 9 期	対前年比	目標	良否
		2015年5月 ～ 2016年4月	2016年5月 ～ 2017年4月			
生産量	通し枚数	237, 199, 062通し	219, 677, 645通し	7. 4% ↓	—	—
ガソリン	使用量 (L)	8, 274	7, 582	8. 4% ↓	1 % ↓	○
液化石油ガス (LPG)	使用量 (kg)	158, 017	139, 049	12% ↓	1 % ↓	○
二酸化炭素 排出量	排出量 (kg-CO2)	2, 152, 694	1, 845, 570	14. 3% ↓	—	—
電力量 (本社)	使用量 (kwh)	98, 543	90, 282	8. 4% ↓	1 % ↓	○
電力量 (オフ輪)	使用量 (kwh)	2, 247, 132	1, 930, 065	14. 1% ↓	1 % ↓	○
水道量 (本社)	使用量 (m³)	293	265	9. 6% ↓	1 % ↓	○
水道量 (オフ輪)	使用量 (m³)	664	812	22. 3% ↑	1 % ↓	×
デマンド値 (オフ輪)	契約電力 (kw)	670	670	—	—	—
	最大デマンド (kw)	661	633	28 ↓	670以下	○
紙管分別 (オフ輪)	—	●廃棄物量 合計: 約33, 106kg ●リサイクル量 ・紙管(合計: 約19, 613kg) ・取付金具(合計: 約1, 726 kg) ・白紙(合計: 約11, 767kg)		—	—	—
廃インキ	本社 (kg)	平均 : 0	平均 : 0	±0	0	○
	オフ輪 (kg)	平均 : 26	平均 : 33	7 ↑	30以下	×
ヤレ紙率 (予備数比率)	本社: 4色機 (%)	平均 : 37	平均 : 45	8 ↑	25以下	×
	オフ輪 (%)	平均 : 60	平均 : 63	3 ↑	65以下	○
トラブル率	オフ輪 (%)	平均 : 2. 7	平均 : 2. 5	0. 2 ↓	3以下	○
稼働率	オフ輪 (%)	平均 : 75	平均 : 71	4 ↓	75以上	×
ペケ版率 (自責)	プリプレス (枚)	合計 : 79	合計 : 22	57 ↓	0	×
	本社 (枚)	合計 : 2	合計 : 4	2 ↑	0	×
	オフ輪 (枚)	合計 : 23	合計 : 11	12 ↓	0	×
廃棄物 (ゴミ袋: 45L)	本社 (袋)	平均 : 17	平均 : 22	5 ↑	14以下	×
	オフ輪 (袋)	平均 : 21	平均 : 11 ?	10 ↓	26以下	—
グリーン購入	購入数 (品)	38	32	6 ↓	2増	×

◆平均＝1ヶ月平均値・オフ輪1台当たりの平均値にて算出

◆算出期間の通し枚数÷平均14R (28, 000通し)＝紙管本数

・48期通し枚数 (B2) : 237, 199, 062通し

・49期通し枚数 (B2) : 219, 677, 645通し (前年比: 92. 6%)

・49期: 紙管使用量＝7, 845本

・紙管1本当たり重量: 約4220g

(取外し紙管＝約2.5kg・取付金具 (2ヶ)＝220g・白紙約＝1.5kg)

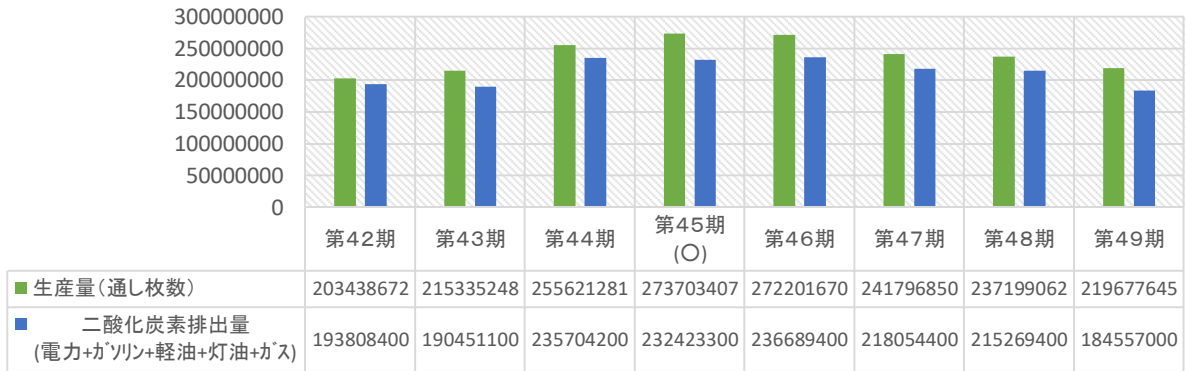
・二酸化炭素実排出係数: 中国電力: 0. 697 (kg-CO2/kwh)

(電力+ガソリン+軽油+灯油+ガス)

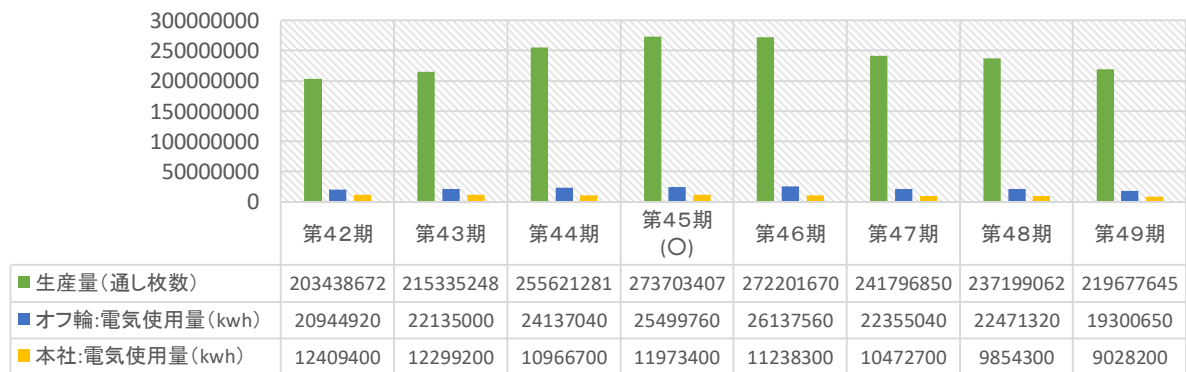
・グリーン購入項目追記: 目標設定

(第44期～ 年間: グリーン購入品2品増)

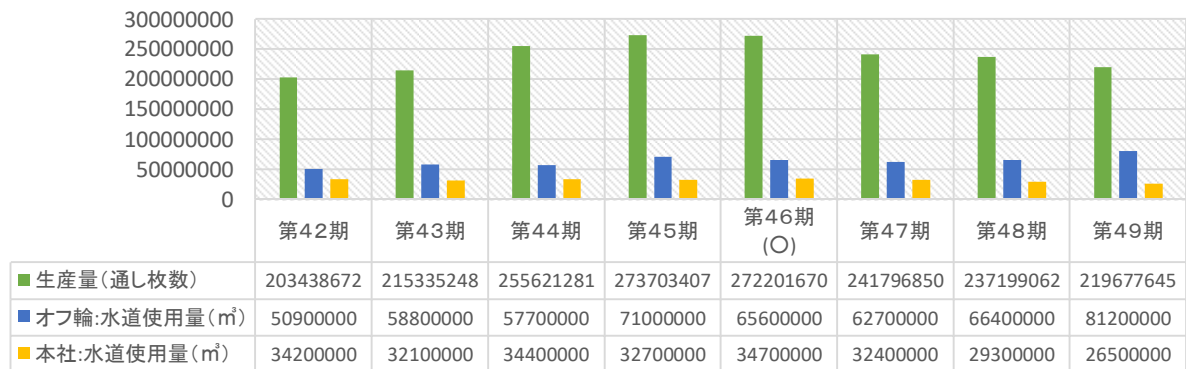
生産量・二酸化炭素排出量



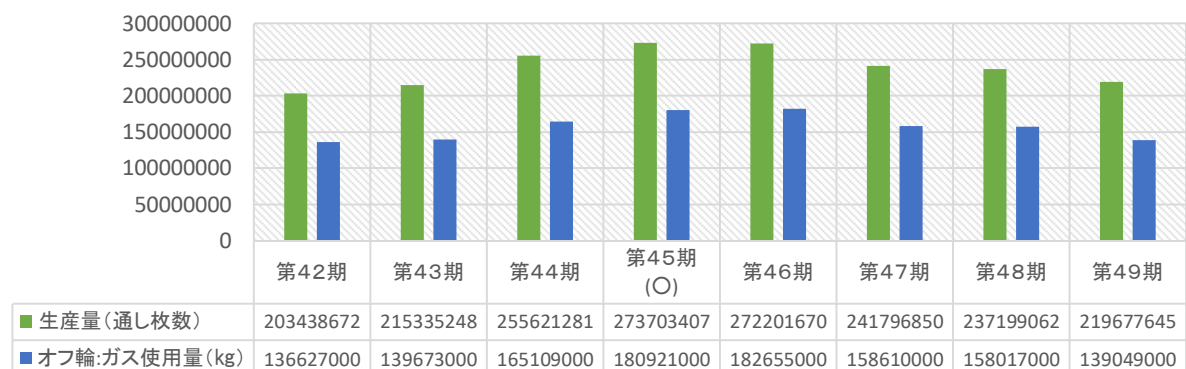
生産量・電力使用量



生産量・水道使用量



生産量・液化石油ガス(LPG)使用量



5. 主要な環境活動・取組内容

【1】二酸化炭素排出量の削減

◆全社対象

- ・全社対象での空調温度設定表示をする事での啓発を実施。
- ・電気使用量の削減対応：照明、パソコン、空調設定管理（⑪）
（夏場26℃・冬場20℃）
- ・使用しない箇所での照明部分消灯の実施。
- ・節電対策の一環として空調使用前に空気を循環させる事での扇風機購入を事務所1台、コンテンツ3台、青の部屋（プレゼンルーム）1台、オフ輪事務所1台増。
- ・窓へ直射日光遮断用のパネルを貼る事で室内空調負荷の軽減。
- ・各部門にて定期的にエアコンフィルター清掃を実施。
- ・本社室外機洗浄を実施。
- ・本社屋上に太陽熱遮断工事の実施。
- ・オフ輪工場屋上に太陽光発電パネルを設置（⑧・⑨）
（屋上全面に設置する事により屋根への太陽熱遮断効果も有り）

●総務

- ・総務部事務所の南側窓に日光遮断でのカーテンを設置。

●企画開発部

- ・啓蒙活動の一環として燃費向上運転マニュアルを社用車に掲示。
- ・印刷物での用紙リサイクル適正Aランク、ベジタブルインキ使用マークをお客様に説明
（印刷してのエンドユーザーにリサイクル環境にやさしい印刷物である事をアピール）
- ・企画開発部事務所の西側窓に日光遮断でのカーテンを設置。

●ソリューション・コンテンツ企画部

- ・サーバールームの設置により安定したサーバー管理と省エネ型空調設置（⑬）

●生産管理部・プリプレス課

- ・CTP入れ替えにて出力効率UPによる省エネ化（1時間刷版枚数14枚→26枚）（⑤・⑥）
- ・プリモジェットプリンタ導入により出力時間短縮による省エネ化（2倍速度）（⑦）
- ・本社1F刷版室の設置により省エネ空調、換気、LED照明の導入（①・②・③）
（換気については室内温度を維持しながらの稼働対応可）

●本社印刷課

- ・1Fエアコン洗浄清掃の実施（毎年の夏期前に実施）

●オフ輪印刷課

- ・デマンド装置管理(オフ輪工場)契約電力値:670kw・目標設定値665kw
- ・デマンド装置：ECOアラームモニター(デジタル表示タイプ)に変更（⑩）
- ・空調負荷の低減(オフ輪工場)コンプレッサー(2台)排気ダクトの取付（⑫）
（夏場：ダクト取付け・冬場：ダクト取外しにて季節での対応）
- ・稼働率の向上（目標設定値：75%以上）
- ・トラブル率の削減（目標設定値：3%以下）
- ・生産部、夏時期でのユニホームを通気性の良いポロシャツタイプに変更。
（通気性の良い物に変える事により体感温度を下げて体への負担を軽減させると同時に状況にもより空調温度対応でも効果有）



【①・②刷版ルーム設置】



【③・④省エネ空調・LED照明】



【⑤・⑥CTP入替え】



【⑦プリモジェットプリンタの導入】



【⑧太陽光パネルの設置】



【⑨PC発電量表示】



【⑩デマンド装置デジタルタイプの設置】



【⑪空調温度設定表示】



【⑫コンプレッサー排気ダクト取付】



【⑬サーバールーム設置】

【2】廃棄物排出量の削減（全社対象）

◆全社対象（リサイクル回収）

- ・リサイクル：ヤレ紙・ヤレ版・新聞紙・紙管・缶・瓶・ペットボトル・陶器・ガラス
段ボール

●総務

- ・コピー用紙裏白の再利用（社内用）
- ・分別リサイクルの推進。

●企画開発部

- ・コピー用紙裏白の再利用（社内用）
- ・分別リサイクルの推進。

●ソリューション・コンテンツ企画部

- ・コピー用紙裏白の再利用（社内用）
- ・分別リサイクルの推進。
- ・ミスコピー防止、出力ゼロ運動の為の張り紙を掲示と共に毎月でのカウント料金を公開しコスト意識を高める。

●生産管理部・プリプレス課

- ・コピー用紙裏白の再利用（社内用）
- ・自責ペケ版（目標設定値：0枚）（⑭）
- ・分別リサイクルの推進。
- ・ヤレ版でのプレートtoプレート（リサイクル化）への契約書締結。
（富士フィルム：版の主原料であるアルミニウムを再利用化するシステム契約）
- ・版購入方法の変更（箱→パレット）により箱の減少、約1,000箱/年減少、購入回数も約105回→約21回/年に減少による運搬自動車排気ガス（二酸化炭素）の減少にもなります。
- ・インクセーバーの導入によるインキ使用量の減少。
（グレーから黒の部分にあたるCMYを除去しKに置き換える事によりインキ使用量の削減）

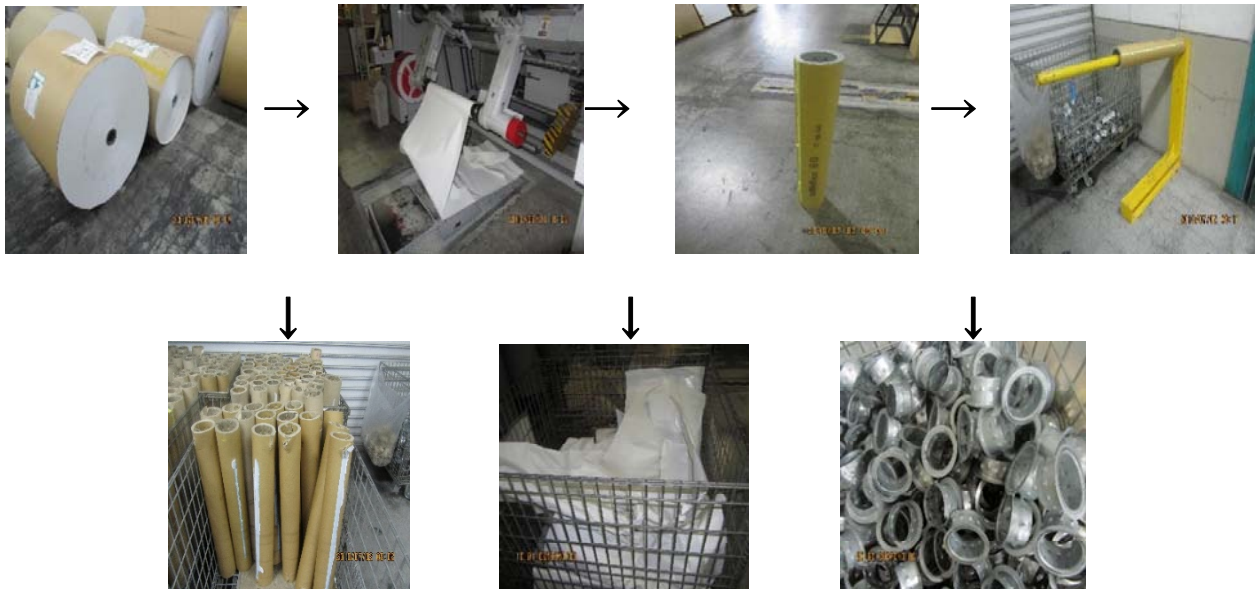
●本社印刷課

- ・コピー用紙裏白の再利用（社内用）
- ・資材使用后、再利用への有効利用化（段ボール・梱包材・ワンプ等）
- ・廃インキ量の削減（目標設定値：1ヶ月処分量0kg）
- ・ヤレ紙率の削減（目標設定値：プランナー予備数から4色機：25%以下）
- ・ペケ版の削減（目標設定値：0枚）
- ・上質紙ヤレ、版合紙の有効利用化（コピー用紙・製品当て紙）
- ・分別リサイクルの推進。

●オフ輪印刷課

- ・コピー用紙裏白の再利用（社内用）
- ・紙管取り外し工具を設置する事で廃棄物からリサイクル化への取組み（支払→返金化）
設置前・・・産業廃棄物として処分。
設置後・・・残紙・紙管・紙管金具の3種類に分別する事によるリサイクル化への実現。
- ・資材使用后、再利用への有効利用化（梱包材・ワンプ等）
- ・廃インキ量の削減（目標設定値：1ヶ月処分量30kg以下）
- ・ヤレ紙率の削減（目標設定値：プランナー予備数から65%以下）
- ・ペケ版の削減（目標設定値：0枚）
（2013年5月～オペレーターミスで発生した枚数のみでカウント変更）
- ・上質紙ヤレ、版合紙の有効利用化（コピー用紙・製品当て紙）
- ・分別リサイクルの推進。

【紙管取り外し工具の導入による分別リサイクル化】



(3 種 類 に 分 類 す る 事 に よ り サ イ ク ル 化 の 実 現)

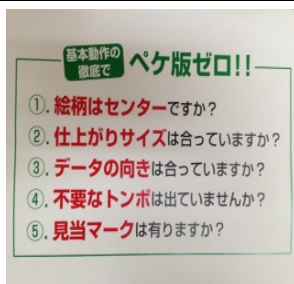
【3】節水対応（全社対象）

◆全社対象

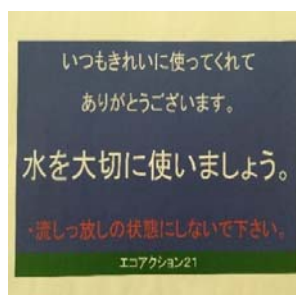
- ・蛇口をレバー式に変更する事による流しっ放しの防止策の実施 (15)
- ・節水表示をする事での啓発を実施 (16)
- ・本社 2F トイレ掃除で使用する水流道具にてシャワーヘッドの取り付けにより水流調整、ON/OFFが手元で出来るようになり水の流しっ放し防止改善 (17)

●プリプレス課

- ・版現像装置：廃液削減濾過装置の導入 (XR-2000) (18)
(現像廃液を分解処理する事で濃縮現像液と再生水に分かれ現像廃液体積が 1 / 8 になる事で廃液量が削減され再生水は下水として流出可能)
- ・自現装置での再生水再利用装置の導入 (XR-R60) (19)
(現像廃液分解処理後の再生水を自現装置で使用出来るよう循環させる事により再生水を棄てる量がゼロになり水道水の使用量も削減可能)



【14自責ペケ版・出力ゼロ運動啓蒙表示】 【18XR-2000の導入】 【19XR-R60の導入】

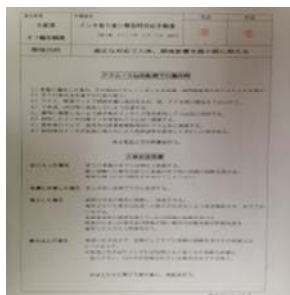


【15蛇口レバー式に変更】 【16節水啓蒙表示】 【17掃除道具シャワーヘッドに変更】

【4】化学物質使用での運用管理（プリプレス課・生産部）

●プリプレス課・生産部

- ・SDSに準じた取扱いと教育の実施。
（有機溶剤の性質・取扱い作業注意点・応急処置・漏出時対応表示の改訂と再教育の実施）
- ・取扱い手順書に沿った使用管理（⑳）
- ・有機溶剤管理改善の実施（㉔）
（吸着ウェス一時保管容器、一時保管専用ドラム缶設置場所の変更・防毒マスクの導入）
- ・緊急対応手順書の掲示（㉔）
- ・特定産業廃棄物管理表示の実施（㉕）
- ・ジクロロメタン・ジクロロプロパン含有溶剤、特定有害産業廃棄物の排除。



【㉔取り扱い手順書】



【㉕特定産業廃棄物管理表示】



【㉔一時保管容器】



【㉔プレートtoプレート】

【5】グリーン購入・リサイクルの推進（全社対象）

◆全社対象

- ・企画開発部にて客先にて月1件の提案を実施。
- ・リサイクル対応型印刷物の推進。
（リサイクル適正A：紙・インキ・加工資材の推奨）
（ベジタブルオイルインキ等植物油インキの採用）
- ・グリーン購入（エコ商品）の推進。
- ・コピー用紙：GPN（グリーン購入ネットワーク）エコ商品に変更。
- ・プレートtoプレート（アルミ版リサイクル）（㉔）

【6】環境関連法規の順守（全社対象）

◆全社対象

- ・下水道法 ・騒音規制法 ・振動規制法 ・瀬戸内海環境保全特別措置法 ・浄化槽法
- ・水質汚濁防止法 ・消防法 ・特定家庭用機器再商品化法 ・P R T R 法
- ・日印産連:グリーン基準ガイドライン・大気汚染防止法・水質汚濁防止法
- ・フロン排出抑制法・ポリ塩化ビフェニル（P C B）特別措置法
- ・危険物規制政令 ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律

【7】環境教育の推進

◆全社対象

- ・全社環境整備（偶数月実施）
- ・緊急避難訓練（1回／2年）
実施は出来てないが生産部（本社・オフ輪印刷課）緊急時対応マニュアル手順書の見直しを実施。
- ・5 S運動の推進（整理・整頓・清掃・清潔・躰）

◆生産部

- ・薬品、溶剤類取り扱いでの緊急対応訓練（年1回）
- ・使用資材のS D S（安全データシート）での教育（年1回）

【8】外部研修

- ・11月：福山市産業廃棄物適正処理講習会の受講
- ①廃棄物処理法の概要及び排出事業者責任の徹底
- ②公共関与処分場における産業廃棄物の受入れ
- ③マニフェスト交付状況の報告

【9】推進メンバー定期ミーティング

- ・数ヶ月毎にEA21推進メンバーミーティングを実施。
各部門での進捗状況報告と互いの意見交換を行い推進しています。



【全社環境整備】

6. 評 価

■ ガソリン

- ・前期比較にて8.4%ダウン。詳細までは把握出来てないが効率的な移動ルートを意識してくれた成果が出ていると思われます。

■ ガス

- ・生産量比にて前年比4.6%ダウン、使用量12%ダウンにて低温乾燥インキ使用への切替えにてドライヤー設定温度減少運用への成果の現れだと思われます。

■ 電気

- ・生産量比にて本社1%ダウン、オフ輪工場も7.4%ダウンと両方とも目標達成。
オフ輪生産量が減少した分以上に電力量減少に至った具体的内容は把握しきれてないが照明設備にて消費電力の高い水銀灯が数ヶ所切れている事も考えられますが、管理上では良い事とも言えれない為、省エネタイプに変更予定。

■ 水道

- ・生産量比率にて本社で2.2%ダウンにて目標達成、オフ輪工場では14.9%UPと未達。オフ輪に関しては生産量が減った状況でもUPしている原因は静電気対応にて加湿箇所を増加させた事による可能性もあるが、生産効率を落とさない為の取り組みでもあり、現在検証中。

■ デマンド

- ・最大デマンド前期661kwから今期は633kwにて28kwダウン。
今期、電力使用量が大幅にダウンした事の影響だと思われます。

■ 紙管リサイクル

- ・今期は廃棄物量：約33,106kg→紙管：約19,613kg・金具：約1,726kg
・白紙：約11,767kg分へとリサイクル化する事が出来ました。

■ 廃インキ

- ・本社0kgにて前年同数、オフ輪が月平均26kg→33kg、7kg増加にて目標未達。
更紙使用頻度にも関係してきますが、在庫量減少の為に在庫特色インキ使用推進を行っていきます。

■ ヤレ紙

- ・4色機37%→45%にて8%UPにて目標未達、オフ輪60%→63%にて3%UPしたが目標値は達成してくれた。ただ前期に続き増加傾向にはある為、このまま増加し続けないよう更なる対策は必要。

■トラブル率

- ・トラブル率は前期より0.2%減少の2.5%にて目標達成。生産量が減った中での達成ではあるが、機械劣化している状況下で減少してくれた事へは現場が日頃の管理意識の向上を図ってくれている成果だと思われます。

■稼働率

- ・稼働率71%と目標未達、前期より生産量の減少にて機械停止していた時間も大きく影響しているが、より無駄な時間を省く上での改善は引き続き行っていきます。

■ペケ版

- ・ブリプレスでのペケ版22枚で目標未達だが、改善努力のおかげで前期より57枚も減少してくれた。2015年8月にCTPを入替えた当初は勝手が違う分、ミスも多発していたが、一つ一つ問題解決してくれた事で大幅削減に貢献してくれました。オフ輪でも23枚→11枚へと大幅に減少してくれて、目標枚数0枚は大きな目標数値ではあるが着々と前進してくれています。

■廃棄物

- ・前年比本社5袋増、オフ輪は10袋減とオフ輪に関しては、明らかに未記録のところが見受けられる為、記録するよう指導してもらいました。

■グリーン購入

- ・今期は32品目と前期に比べ6アイテム減少しましたが、引き続き優先的には選定してくれています。総務での購入がほとんどになりますが、環境対応品に関しては生産部も関わってくる為、試供品を試しながら選定していきます。

●二酸化炭素排出量の削減

- ・太陽光発電:売電電力量49期(2016年5月～2017年4月)合計64,092kwh
- ・プレートtoプレート (アルミ版リサイクル)
2016年4月～2017年3月迄のリサイクルによる温室効果ガス(CO2)削減量:
92t分、ガソリン(ℓ10km)にて算出すると地球を約10周分に値します。

●廃棄物排出量の削減

- ・現像廃液削減装置「XR-2000」の導入により現像廃液量:年間3,920ℓ
月間平均327ℓの削減効果有り。
- ・49期:合間の時間を利用してのパレット修理にてリサイクル出来た枚数は
1,279枚、中古品を購入した場合、1枚当たり2,000円として
2,558,000円分貢献してくれました。

●節水(全社対象)

- ・再生水再利用装置「XR-R60」の導入により水道水使用量:年間3,005ℓ
月間平均250ℓの削減効果有り。
- ・水栓パッキン交換による水漏れ対応。

●化学物質

- ・環境に配慮した資材の見直しを引き続き実施。

7. 今後の目標（次年度の取り組み内容）

取組区分	単位	5 0 期	5 1 期	5 2 期
		2017年5月 ～ 2018年4月	2018年5月 ～ 2019年4月	2019年5月 ～ 2020年4月
生産量	通し枚数	—	—	—
ガソリン	使用量（L）	前年比△ 1 %	前年比△ 1 %	前年比△ 1 %
液化石油ガス（LPG）	使用量（kg）	前年比△ 1 %	前年比△ 1 %	前年比△ 1 %
電力量（本社）	使用量（kwh）	前年比△ 1 %	前年比△ 1 %	前年比△ 1 %
電力量（オフ輪）	使用量（kwh）	前年比△ 1 %	前年比△ 1 %	前年比△ 1 %
水道量（本社）	使用量（m3）	前年比△ 1 %	前年比△ 1 %	前年比△ 1 %
水道量（オフ輪）	使用量（m3）	前年比△ 1 %	前年比△ 1 %	前年比△ 1 %
デマンド値	契約電力（kw）	670	670	670
（オフ輪）	最大デマンド(kw)	660	660	660
廃インキ	本社（kg）	0	0	0
	オフ輪（kg）	平均：1 6 以下	平均：1 6 以下	平均：1 6 以下
ヤレ紙率 （予備数比率）		平均値	平均値	平均値
	本社（%）	4色機：25以下	4色機：25以下	4色機：25以下
	オフ輪（%）	平均：62以下	平均：62以下	平均：62以下
トラブル率	オフ輪（%）	平均：2. 4以下	平均：2. 4以下	平均：2. 4以下
稼働率	オフ輪（%）	平均：78以上	平均：78以上	平均：78以上
	プリプレス(枚)	0	0	0
ペケ版率	本社（枚）	0	0	0
	オフ輪（枚）	0	0	0
廃棄物	本社（袋）	平均：1 3	平均：1 3	平均：1 3
（ゴミ袋：45L）	オフ輪（袋）	平均：2 4	平均：2 4	平均：2 4
グリーン購入	購入数（品）	2	2	2

◎来期での取り組み項目

- ・ オフ輪工場照明を省エネタイプに変更予定（年間：約70, 350kwh分削減）
（仮）1 kwh＝1 5 円：年間1, 0 5 5, 2 5 0 円分削減効果有り。
- ・ 生産部での機械整備・JOB切替えでの目標時間設定（見える化）を行う事により
時間効率意識を高め無駄な電力量削減を図る。
- ・ 見える化の推進により現状の見直しを行いムリ・ムダ・ムラの改善を図ると共に
全社員のコスト意識を高めていく。（見える化→解る化→出来る化）

8. 環境関連法規制遵守状況

主な環境関連法規等、下水道法・騒音規制法・振動規制法・浄化槽法・廃棄物処理法
消防法・特定家庭用機器再商品化法・フロン排出抑制法・大気汚染防止法・P R T R法
水質汚濁防止法・瀬戸内海環境保全特別措置法・ポリ塩化ビフェニル（P C B）特別措置法
日印産連：グリーン基準ガイドライン
法令等の遵守状況を環境関連法規一覧表に基づき確認しましたが、違反状況は無く、
近隣住民からの苦情及び関係当局より違反の指摘は過去3年間ありませんでした。

9. 代表者による全体の評価と見直し結果

環境活動の取組結果の全体評価（社長：小田芳正）

システムの有効性、取り組みの適切性は有ると判断しております。環境方針及び環境目標変更の必要性は有りません。

環境管理責任者の浜田をはじめ各委員はよくやってくれていると感じます。

しかし、部署によってはまだまだ目標数値の意識付けや周知徹底が難しいと思うこともあります。

しっかりと各委員がコミュニケーションをとって全員参加の意識を持てるよう発信力を高めてもらいたい。

インキセーバー等の目に見えにくい環境改善ソフト導入等もあるが積極的にハード・ソフト面からも環境・安全・安心を会社としては整備していきたい。

また、せっかくの取り組みを対外的にアピールできるよう今後も考えていく。

エコアクションの考えを社内に浸透させ、文化にしていく。

■社内事故クレーム件数と損金

	件 数	損 金
4 3 期	1 2 件	9 8 9 千円
4 4 期	1 8 件	3, 0 5 9 千円
4 5 期	1 4 件	4, 6 1 5 千円
4 6 期	2 6 件	内 1 6 件：1, 1 6 8 千円
4 7 期	1 3 件	内 8 件：8 7 2 千円
4 8 期	1 9 件	1, 4 3 1 千円
4 9 期	1 3 件	4 7 7 千円